



# ならた

編集・発行  
成田市教育委員会 / 〒286-8585 花崎町760番地 ☎22-1111大代表



# ちい き ひと 地域の人たちとのふれあい

今回は豆記者のみなさんに「地域の人たちとのふれあい」というテーマで記事を書いてもらいました。子どもたちが地域の人たちと世代を超えて、交流を広げ、さまざまな活動に取り組んでいく様子をご紹介します。

## 伝統芸能を受け継いで

ぼくたちの学校では十余三長寿会の人たちとの交流がとてさか

んです。全校で行う春のお茶つみやグラウンドゴルフ、1・2年生の芋の苗植え、3年生以上の伝統芸能などの行事があります。中でも、十余三地区に伝わる高砂という踊りに力を入れていま



地区の敬老会で高砂を披露

す。教えてくれるのは長寿会の人たちです。運動会や秋のお礼の会などではいっしょに踊ります。また、地区の敬老会にもよばれて、その成果を披露しています。長寿会の人たちもとても喜んでくれます。

これからもぼくたちは、昔からの地区で踊り継がれてきた高砂を受け継いでいきたいと思えます。

東小 吉岡 淳平

## 敬老会の人たちとのふれあい

本城小学校では毎年、運動会や草とり・花壇の花の苗植えなど地域の人たちとふれあう機会がたくさんあります。

11月には、収穫祭がありました



手で編んだなわの出来ばえは？

た。お祭り広場で、地域の人たちといっしょに、楽しい時間を過ごしました。

ぼくは、敬老会の人たちにわらなわを編む方法を教えてもらいました。手のひらでわらを転がしてねじるのが難しかったです。

12月には、戦争中の話を聞きながら、すいとん作りを覚えてもらいました。戦争中のできごとや食べ物などについてもくわしく知ることができました。

本城小 仲田 大和

## 願いをこめて 除草作業

わたしの住んでいる地域では定期的な除草作業をしています。わたしもいっしょに作業をしました。

作業は子どもが集まる場所や通行のじゃまになる所を中心にいきます。かまを持って、真剣な表情で一生懸命に草をかきます。

地域の人たちは「草が多いと草だけがをってしまったら、見通しが悪くなったりしてみんなが困るのでできるだけ楽しく、安全に過ごせるようにしたい」と話していました。作業が終わった後の、



みんなの安全を願って

すがすがしい表情が印象的でした。  
作業に参加して、地域の人たちの願いを感じることができました。

平成小 宮澤 未祐

## 成田祇園祭に 参加して

古い歴史をもつ成田祇園祭。わたしは「このお祭り」に、幼いころから参加しています。4年生から6年生までは、手白舞として参加しました。3日間、朝早くから夜遅くまで歩くのは大変です。  
しかし、わたしたちの世話をしてくれるおじさんやお姉さんたち

はもっととへとへとになっていきます。お化粧などをしてくれる人、ご飯を用意してくれる人、安全に誘導してくれる人など、陰で支えてくれる人たちの力があってこそ、お祭りが成り立っているのだとわかりました。だから、わたしも頑張るぞという気持ちになれました。地域のひととひとの温かいふれあい、わたしたちにパワーを与えてくれる源です。

成田高校付属小 吉田 礼奈



だいほん前で勢ぞろい

## お年寄りを囲んで

中郷地区の「お年寄りを囲む会」は、毎年11月初めの土曜日に

行われます。学校と地域の人々が協力しあって開いています。わたしたちは、会を成功させるためにいろいろな準備をしました。去年とちがつ飾りを作ったり、学習で作った作品を展示したりしました。

当日は「元気なおじいさんおばあさん、地域の人たちが、たくさん来てくれました。どんどん出し物が進み自分の出番が来たときはとても緊張しました。会の最後、お年寄りから「ありがとう」と言われて、心が温まる気分になりました。わたしたちはこの会がいつまでも続いてくれるように願っています。

中郷小 大木 優実



みんなで健康体操

## みんな笑顔で！



おじいさん、おばあさんといっしょに

10月1日に三里塚小学校の体育館で子ども、高齢者・婦人交流会が行われました。地域の人たちとふれあうために、おじいさんやおばあさんが招待されました。おじいさんやおばあさんたちは歌を歌ったり、踊ったり、子どもたちは楽器の演奏や合唱などをしました。わたしたちは朝早くから、夕方遅くまでこの日のために練習をしてきて、当日のおじいさん、おばあさんたちのうれしそうな顔をみてすばらしい達成感を感じました。婦人会の人たちは、交流会にきた人全員のお弁当を用意してくれました。みんなと楽しい

ひとときが過ぎてとても良い会になりました。  
三里塚小 岩城 美莉

## 心が通う秋祭り

ほくが通っている玉造小学校には、地域の人や保護者の人たちと一緒に「秋祭り」があります。ここの日は、11月5日に行われました。当日は、バザーやさまざまなゲーム、食べ物の模擬店があり楽しい行事です。

この行事は、地域の人たちが協力し、多くの人たちと交流できるのが一つの特徴です。立場の違う人や年齢の違う人と一緒に過ごす、「こんなに支えてくれている人がいるんだ」と思うことが多



大盛況の秋祭り



リサイクル活動で地域の人と交流

向台小学校では、毎年定期的にふれあい花植えを行っています。豊令会の人や地域の人が、学校の外周や花壇の手入れをします。わたしは最初、周り

## ぼくの町の リサイクル活動

ぼくの住んでいる東向台では2カ月に1回リサイクル活動を行っています。20年位前から日曜日

く喜びと安心を感じます。この心のふれあいがある秋祭りが、これから先も続き、いつまでも地域のひとと共に頑張れる学校であってほしいと思います。

玉造小 大川 翔太

の朝8時に、各家庭から出た新聞紙などを集めています。ぼくたち小学生は、お手伝いとしてリヤカーについてまわります。1回でトラック約2台分の量が集まります。リサイクルを行う目的の中には「地域の親睦を深めること」、「防犯のため、大人の一人一人に顔と名前を覚えてもらうこと」があります。

新聞紙などもリサイクルすることにより、資源を大切にでき、さらに地域のひとたちの交流も深めることができるのはすばらしいことだと思えます。ぼくが、大人になってからも、ずっと続けていきたいと思えます。

加良部小 齋藤 一真

## ふれあい 花植え

にしている人となかなか話せずに作業をしていきましたが、最後にはとてもなかよくなっていました。豊令会の人々が、「若い人には負けていられんよ」と言ったら、みんながどつと笑いました。作業が終わると、外周に美しいサルビアとマリーゴールドが並びました。この光景をみたら、「花植えって楽しいなあ」と思いました。

向台小 師 美里



学校の外周が花でいっぱい

## 地域のふれあい

ぼくたちの学校には、毎年全校児童と地域の社会福祉協議会や婦人会の人たちが中心となり、お年寄りを招待して行っ、「ふれあ

## 成田のおじいちゃんとおばあちゃん

「間違えないでうまく踊れるか



会場には1日中拍手や笑いが

いフェスティバル」というものがあります。このフェスティバルでぼくたちは、歌や劇、ダンスの発表をします。地域の人は、伝統芸能を披露してくれたり、地域のご自慢大会をしたりと、日ごろ、サークル活動で行っている成果を見せてくださいます。お互いの発表を見ながら豊住小の体育館は、この日一日中、拍手や笑いが絶えません。ぼくたちは、地域のひとたちとこのような活動を通してふれあっています。

豊住小 小川 祐樹



あたたかいおばあちゃんの手

な、「お年寄りの人たちの前で踊るときは、いつもちよつとどきどきします。わたしはバレエで老人ホームなどの慰問をしています。慰問を始めたのは1年くらい前からで、年に1~2回、地域のお年寄りの集まるところで踊っています。踊るときは、舞台上に立っているような気持ちで一生懸命踊ります。お年寄りの人たちが喜んでくれる顔を見ると、とてもうれしくなります。最後に、一人一人と握手をします。強く握ってくれる手は、しわしわで、細くてあったかいです。これからも、もっと喜んでもらえるよう活動していきたいと思えます。

吾妻小 河瀬 桃香

# リサイクル活動

豊住中学校では、年に一度地域の人たちと一緒にリサイクル活動を行っています。地区ごとに分かれて、各家庭からのビンや缶・衣類などをトラックで回収します。そして今年も、多くの地域の人が協力をしてくれたり、本当にたくさんの方が集まりました。生徒も先生も皆一生懸命にやっています、終わったときはとても清々



地域のひと一致協力して

しかつたです。地域の人たちと一緒に活動することはとても大切だと思つので、これからもずっと続くことを願っています。

豊住中 長谷川 舞

## 地域の小学校と協力し 久住の町をきれいに

ぼくたちは、11月8日に一年一度の小中高久住クリーン大作戦を行いました。この活動は、小学生と中学生が協力し、久住の地域

をきれいにしようとして、おとしから始まりました。そこで小学生、クリーン大作戦に参加した感想を聞いてみると、久住がきれいになっていいと思う。や、環境のことについてもっと知りたくなつた」と言ってくれた人もいました。

きれいになった久住を見て、これからも地域のひとと小学生が協力しゴミのない町づくりを

目指していこうと思つました。久住中 宮城 雅也



小・中学生でクリーン大作戦

## 消防士という職業を体験して

11月15・16日に赤坂消防署へ職場体験に行きました。実際の消火活動はできないので、けむりの体験や放水訓練・ハシゴの試乗をしたり、三角巾・ロープの扱いなどを学んだりしました。一番印象に残つたのは放水訓練

でした。放水していると水圧で体が後ろに押されるような感じになり、支えるのがやっとでした。ホースは約11kgもあり、出し入れや運ぶのも大変です。放水した後はホースがぬれて約15kgになるのでさらに重くなります。改めて



防火服を着て放水を体験

消防士の人たちはすごいなと思つたです。貴重な体験ができて良かったです。

吾妻中 大山 雄也

## 学校と地域の協力

わたしが通っている玉造中学校では、職場訪問・職場体験学習が毎年進路学習の一環として行われています。これは、地域や事務所の人たちの協力で成り立っています。地域の事業所などと学校が一体となるからこそ、自らの生き方をみつけられる機会となりま

などでも地域の人たちが協力してくれま

す。これら多くの人たちへの感謝の気持ちを忘れず、これからの学校生活をよりよくしていきたいです。

玉造中 伊藤 春花



保育園のお昼寝タイム(職場体験学習で)

## あとがき

豆記者のみなさんの記事から、成田の子どもたちが地域のひとたちと様々な場面でふれあう様子がうかがえました。

また、子どもたちが自分たちを見守ってくれる地域の人たちの存在や温かい気持ちに気が付き、前向きに活動に参加していることが印象的でした。

本号をもって、ジュニア広報なりの最終号とします。これまでの愛読に感謝いたします。